



株主・投資家のみなさまへ

第162期 中間報告書

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

証券コード | 7971

東リ株式会社



- TOP MESSAGE
- 業績ハイライト
- セグメント別の営業状況
- TOPICS
- 会社情報
- 株主メモ

<https://www.toli.co.jp>

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。





代表取締役社長

水嶋元博

株主・投資家のみなさまへ

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第162期中間期(2025年4月1日~2025年9月30日)が終了いたしましたので、当社グループの事業活動についてご報告申し上げます。

当中間期における日本経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調となりました。一方、米国の通商政策に端を発する世界経済の混乱や金融資本市場への波及、並びに緊迫が続くウクライナ・中東地域での地政学リスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、インバウンド需要に対応した宿泊施設向けやオフィスリニューアル需要に一服感はあるものの、住生活空間における高付加価値化のニーズは依然高く、リフォーム・リニューアル市場向け商材の開発や需要開拓は貴重な成長機会と捉えられます。一方、建築物省エネ法改正に伴う駆け込み需要の反動減により新設住宅市場が弱含みで推移していることに加え、建設コストの高止まりや人手不足を背景に新設建築着工量は伸び悩み、今後も楽観の許されない状況が続くものと思われます。

このような状況の下、当社グループは長期ビジョン〈TOLI VISION 2030〉の実現に向けた第IIフェーズとして、当期より中期経営計画『SHINKA Plus ONE 2.0』を推進しております。前中期経営計画で実行した投資効果の最大化と新たな成長戦略を展開する“さらなる進化への挑戦”フェーズと位置付け、3つの事業セグメント(①インテリア事業、②グローバル事業、③建材その他事業)における実行戦略、並びにその成長を支える経営基盤の強化(④バリューアップドライバー戦略)を推進し、東リグループの持続的成長を目指します。当中間期につきましては、市場競争力の高い新製品の発売やその販促活動に注力して販売数量の拡大に取り組み、製造原価低減をはじめとする前中期経営計画で実行した投資効果の最大化に注力いたしました。

これらの結果、当中間期における連結業績は、売上高52,292百万円(前期比10.3%増)、営業利益1,399百万円(前期比38.2%増)、経常利益1,710百万円(前期比49.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益1,090百万円(前期比58.3%増)となりました。

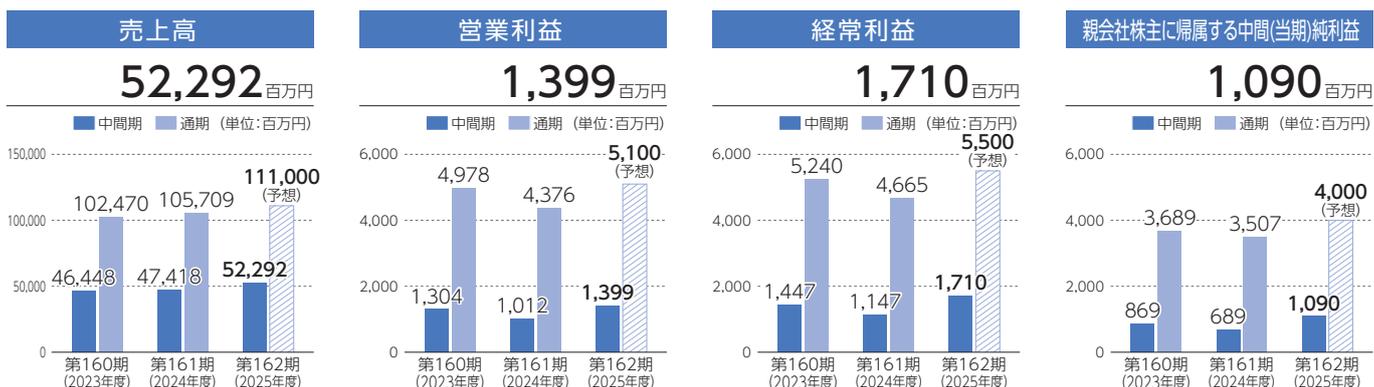
今後の見通しについて

当中間期以降の経営環境は、引き続き世界経済の混迷リスクを抱えつつ、エネルギー価格や物流費・労務費などをはじめとするコスト上昇圧力も高止まりの状況が続くものと予想されます。

そのような中、高付加価値製品を中心とする数量ベースでの売上拡大、並びに製造原価低減やタイルカーペットリサイクルシステムの拡充などに努めてまいります。

以上をふまえ、中期初年度となる2026年3月期の通期連結業績予想は、売上高111,000百万円(前期比5.0%増)、営業利益5,100百万円(前期比16.5%増)、経常利益5,500百万円(前期比17.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,000百万円(前期比14.1%増)を見込んでおります。

業績ハイライト



セグメント別の営業状況

インテリア事業

インテリア事業では、各種展示会への積極的出展や新製品発表会を開催するなど、当期発売製品の販促活動に注力いたしました。秋以降も、全国各地での新製品発表会を予定しており、高付加価値製品を中心とする販促活動を展開してまいります。

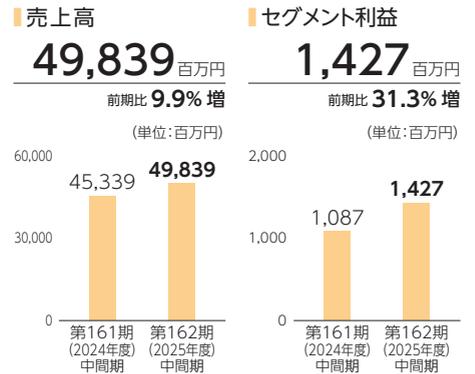
ビニル系床材では、主力商品であるデザインと機能を兼ね備えたビニル床タイルの総合見本帳「タイルコレクション」や、ワックスメンテナンス不要の置き敷きビニル床タイル「ルースレイタイルシリーズ」を7月に発売いたしました。また、前期に発売したビニル床シート見本帳「シートコレクションNW」の市場浸透が一層進んだことで、ビニル系床材の売上高は前年を大幅に上回りました。

カーペットでは、上質な空間を演出するタイルカーペット「プライムクラス」を7月にリニューアルし、販促活動に注力いたしました。また、「TOLI完全循環型リサイクルシステム」の基幹製品である「GA-3600 サスティバック」の伸長に加え、昨年12月に実施したタイルカーペット主力製品の上代価格改定効果もあり、カーペット全体の売上高は前年を上回りました。

壁装材では、足元の新設住宅需要が弱含みで推移するなか、昨年発売した新ブランド見本帳「TOLI GRAND WALL COLLECTION (グランウォールコレクション)」や汎用ビニル壁紙「東リウォールVS」、並びに全点不燃認定壁紙「DECOPOWER」がそれぞれ数量ベースで好調に推移し、壁装材全体の売上高は大きく伸長する結果となりました。

ウィンドウトリートメントでは、6月に発売した「えらべるって、楽しい!」をコンセプトにした東リカーテン「fufu(フフル)」に加え、グループ販売会社によるブラインド・カーテンレール等の窓回り製品の販促活動に注力し、ウィンドウトリートメント全体の売上高は前年を上回りました。

これらの結果、インテリア事業の売上高は49,839百万円(前期比9.9%増)となりました。利益面では、投資活動に伴う減価償却費や物流コスト・人件費などが増加したものの、ビニル系床材や壁装材を中心とした販売数量の拡大や製造原価の低減効果に加え、一部製品の上代価格改定による販売価格の底上げが進展し、セグメント利益は1,427百万円(前期比31.3%増)となりました。



グローバル事業

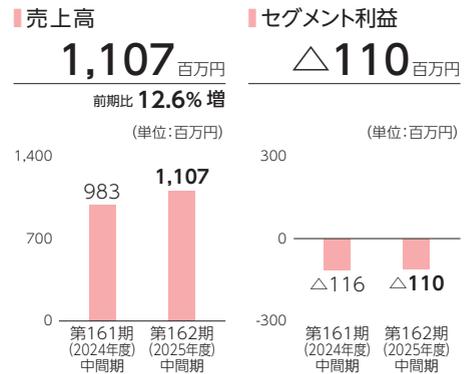
グローバル事業におきましては、グローバル戦略商品の販促活動及び各国現地代理店との取り組みに注力し、TOLIブランドのさらなる浸透に努めました。なお、海外関係会社(連結子会社2社)の2025年1月~6月までの実績を、当中間期の業績に算入しております。

中国市場では、経済の低迷が長期化するなか、不動産業界においても住宅及びオフィス需要の低迷や住宅価格の下落等、厳しい市場環境が続いております。中国国内の販売業務を担う東瑞(上海)貿易有限公司では、日系プロジェクト案件数の減少や建設コストの圧縮などを背景に、販売数量は伸び悩みました。

北米市場では、インフレ率の上昇を背景に足元の建設投資は伸び悩み、関税政策による秋以降への影響も懸念されます。そのような中、2024年7月に営業を開始した米国現地法人のTOLI North America Corporationでは、販売製品の拡充に加え、エリア別代理店施策や現地在庫戦略を推進いたしました。

ASEAN地域、オセアニア、中東・インドにおいては、各国のマーケット事情に応じた代理店施策と販売戦略の推進、並びに新規顧客の開拓に注力いたしました。

これらの結果、グローバル事業の売上高は1,107百万円(前期比12.6%増)となりました。利益面では、北米市場におけるTOLI North America Corporationの業績が寄与するなど、利益率は改善傾向となりましたが、物流コストの上昇が影響し、セグメント損失は110百万円(前期 セグメント損失116百万円)となりました。

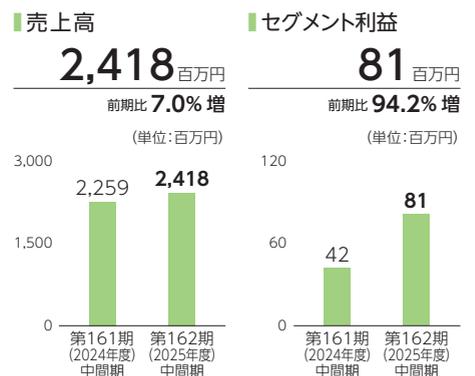


建材その他事業

業際分野及び産業資材向け東リブランド製品の製造販売では、当社グループの技術力を活かした業際市場向け製品である、浴室・浴場向けビニル床シート「バスナシリーズ」が好調に推移いたしました。また、卓球リーグ「Tリーグ」とオフィシャルフロアマットパートナー契約を締結するなど、卓球・バレーボールなどのスポーツ市場向け専用床材の開発及び販売チャネルの開拓が進展いたしました。

建材及び住設機器等のグループ販売会社による仕入れ販売では、新設住宅市場が弱含みで推移する中、リフォーム・リニューアル需要を中心に売上を獲得し、売上高は前年を上回りました。

これらの結果、建材その他事業の売上高は2,418百万円(前期比7.0%増)となりました。利益面では、業際分野及び産業資材向け製品における高付加価値製品の販売が伸長したことにより、セグメント利益は81百万円(前期比94.2%増)となりました。



セグメントの業績は、セグメント間の取引を含めて表示しております

NEWS
CLIP
01

スポーツ市場向け製品の開発 卓球競技専用床材「コネクトマットT」が本格運用

当社は、2026年3月期より事業セグメントを改訂しております。新セグメントのひとつ、「建材その他事業」は、インテリアの枠組みを越えた業際分野における製品開発とチャネル開拓に取り組み、事業領域の拡大を目指しております。

こうした業際市場へのアプローチの結果、既設の体育館床の上に敷設する**卓球競技専用フロアマット「コネクトマットT」**の開発に至りました。同製品は、世界トップクラスの選手が所属する一般社団法人Tリーグの「Tリーグ 2024-2025シーズン」で実地検証を行い、その成果を踏まえて2025年7月にTリーグとのオフィシャルフロアマットパートナー契約を締結いたしました。「コネクトマットT」は、2025-2026シーズンから2027-2028シーズンまでの3シーズンにわたり、Tリーグ(男子・女子)の試合を足元から支えます。

今後も、事業ポートフォリオの多様化を図るとともに、スポーツ振興・発展にも微力ながら貢献してまいります。



Tリーグの公式戦で使用されている「コネクトマットT」

NEWS
CLIP
02

神戸に新たな空の玄関口が完成 “卵の殻”を活用したビニル床タイルが足元を演出

神戸空港において初となる国際線が就航し、併せて「第2ターミナル」が開業し、中国、韓国などアジア5都市との運航がスタートしました。コンセプトは「海に浮かび、森を感じる」。広大な緑地が配置されたほか、屋上の展望デッキからは神戸の海や街並み、六甲山、明石海峡大橋などの眺望を楽しむことができます。

内装デザインはバイオフィリックが意識され、自然との調和が演出されています。出発・到着ロビーなどのパブリックエリアには、**耐久性に優れ“卵の殻”をアップサイクルしたビニル床タイル「バイオミックストーン」***が敷設されました。また、VIPルームには贅沢な踏み心地のタイルカーペット「プライムクラス」が採用され、上質な空間を演出いたします。

*バイオミックストーンはバイオマスマークを取得しています。

神戸空港第2ターミナルビル

所在地：神戸市中央区
設計：(株)梓設計
材料(東リ品)：バイオミックストーン、プライムクラス、マチコV 他
完工：2025年3月



出発・到着ロビーの床に敷設された「バイオミックストーン」



VIPルームに敷かれた「プライムクラス」が上質な空間を演出

新任役員のご紹介

かとう こうろう

加藤 晃朗

取締役 執行役員



1995年 4月 当社入社
2018年 4月 当社経営企画部長
2021年 4月 当社経営企画部長 兼
デジタル戦略室長
2022年 4月 当社執行役員 経営企画部長 兼
デジタル戦略室長
2024年 4月 当社執行役員 経営企画部長
2025年 6月 当社取締役 執行役員
経営企画部長 (現任)

このたび取締役を拝命いたしました加藤晃朗でございます。

インテリアはライフスタイルを彩る重要なエレメントであり、インテリアメーカーの当社グループは、様々な人のライフスタイルの実現に貢献することが社会的な役割であります。企業価値をさらに高め、社会的使命を全うすべく、引き続き尽力してまいります。ご支援・ご指導の程よろしく願い申し上げます。

たけかわ まさかつ

竹川 政克

取締役 執行役員



1997年 4月 当社入社
2021年 4月 当社技術開発部長
2023年 4月 当社執行役員 技術開発部長
2025年 6月 当社取締役 執行役員
技術開発部長 (現任)

このたび取締役を拝命いたしました竹川政克でございます。

入社以来、研究開発部門にて多くの新製品、新技術の開発に携わってまいりました。技術的なチャレンジを積極的に推進し、オンリーワンの技術獲得を目指します。新たな価値を創造し、心豊かな空間環境づくりに貢献することで、企業価値の向上に繋げてまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。

きむら あさこ

木村 麻子

社外取締役



2008年 4月 関西大学 商学部准教授
2014年 4月 関西大学 商学部教授 (現任)
2022年 10月 関西大学 商学部副学部長
2023年 8月 京都大学 経営管理大学院
客員教授 (現任)
2024年 6月 (株)常陽銀行
社外取締役監査等委員 (現任)
2024年 10月 関西大学 学長補佐 (現任)
2025年 6月 当社取締役 (現任)

このたび社外取締役を拝命いたしました木村麻子でございます。

当社の長期ビジョン〈TOLI VISION 2030〉に掲げる、経済的価値と社会的価値の両立・拡大に向けて、サステナビリティ経営に関する研究を通じて得た知見や経験を活かし、微力ながら尽力してまいります。株主・投資家のみなさま、今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

なかの ようじ

中野 洋二

常勤監査役



1989年 10月 当社入社
2011年 4月 当社近畿圏ブロック統括部長
2015年 4月 当社執行役員
営業本部副本部長 兼
近畿圏ブロック統括部長
2021年 4月 当社常務執行役員
営業本部副本部長 兼
首都圏ブロック統括部長
2022年 4月 当社常務執行役員 営業本部長
2025年 4月 当社常勤顧問
2025年 6月 当社監査役 (現任)

このたび常勤監査役を拝命いたしました中野洋二でございます。

当社入社以来、営業部門に在籍し、様々なステークホルダーのみなさまとの関わりで培った経験を活かし、目まぐるしく変化する社会・環境の中にあっても企業価値を向上させ、健全な発展を遂げ続ける企業づくりに貢献していく所存です。どうぞよろしく願い申し上げます。

■ 会社概要

創立 1919年(大正8年)12月1日
資本金 6,855百万円
従業員数 928名
主な事業内容 ビニル床タイル、ビニル床シート、カーペット、カーテン、壁装材、接着剤等の製造販売
本社 兵庫県伊丹市東岡五丁目125番地
東京本部 東京都港区東新橋二丁目10番4号
工場 伊丹、厚木
ショールーム 札幌、東京、名古屋、大阪、岡山、高松、福岡
営業所 札幌、仙台、盛岡、郡山、新潟、長野、東京、大宮、千葉、水戸、八王子、横浜、名古屋、静岡、金沢、大阪、京都、神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、北九州、鹿児島、沖縄、シンガポール

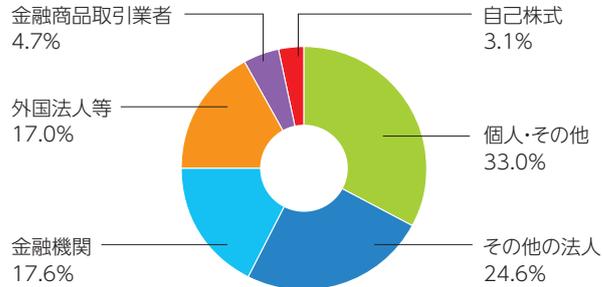
■ 役員

(取締役・監査役)	代表取締役社長	永嶋元博
	取締役専務執行役員	天野宏文
	取締役常務執行役員	橋本昌幸
	取締役執行役員	加藤晃朗
	取締役執行役員	川竹政克
	取締役執行役員	横田絵理子
	取締役執行役員	関根近子
	取締役執行役員	藤井秀延
	取締役執行役員	木村麻子
	常勤監査役	松本野洋
	常勤監査役	森川拓
	常勤監査役	渡沼照夫
(執行役員)	常務執行役員	荒木陽三
	常務執行役員	立花敦司
	常務執行役員	田淵俊之
	常務執行役員	工藤正知
	執行役員	長森正信
	執行役員	園田子治
	執行役員	児玉原史
	執行役員	永井上健治

■ 株式の状況

発行可能株式総数 141,603,000株
発行済株式の総数 60,129,249株
株主数 17,358名

○ 所有者別株式分布状況



○ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	3,641	6.2
株式会社トクヤマ	2,780	4.7
東親会持株会	2,213	3.7
株式会社三菱UFJ銀行	1,777	3.0
三信株式会社	1,730	2.9
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,539	2.6
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.5
東リ社員持株会	1,343	2.3
BNYM SA/INV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	1,234	2.1
株式会社池田泉州銀行	1,220	2.0

(注)持株比率は、自己株式(1,883千株)を控除して計算しております。

■ 株主メモ

決算期 3月31日

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

株主名簿管理人事務取扱場所(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
0120-094-777 (通話料無料)
<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

■ 公告の方法

電子公告の方法により、東リホームページ(<https://www.toli.co.jp>)に掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【お知らせ】

株式関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のウェブサイトにて24時間承っております。

○ホームページアドレス <https://www.tr.mufig.jp/daikou/>



表紙デザインは、2025年7月に発売した「ロイヤルストーン・テトラ」の商品写真を使用しています。